

# 車検 チェック シート

|      |                    |
|------|--------------------|
| チーム名 |                    |
| 氏名   |                    |
| カテゴリ | ビギナーズ・ライトウェイト・オープン |

該当クラスを○で囲んでください。

- ◆ 各項目を確認し、太枠のチェック欄に ✓ または ○ をつけてください。
- ◆ 自己チェックが終わったら、この用紙とロボットを持って車検を受けてください。
- ◆ 「車検合格シール」の貼られていないロボットは試合に出場できません。
- ◆ 車検で指摘された部分は、すぐに直して車検を受けなおしましょう(車検は何度でも受けられます)。
- ◆ 車検後に、修理等の事情でロボットの形状を変更した場合、再度車検を受ける必要があります。

|    | チェック項目   | チェック欄  |     |
|----|--|--------|-----|
|    |  | 自己     | 車検係 |
| 1  | ロボットのサイズは直径22cm以下、高さ22cm以下か<br>※コード等動く部分はすべて伸ばした状態で確認します。把手(ハンドル)の高さは含みません。                  |        |     |
| 2  | 把手(ハンドル)はあるか。また、審判が素早く持てる位置にあるか<br>※把手の高さ22cmを超えた部分にロボットの部品を取り付けることはできません。                   |        |     |
| 3  | ロボットの重量は適切か(電池を入れた状態で、ビギナーズ/ライトウェイト 1100g以下、オープン 2400g以下)                                    |        |     |
| 4  | ロボットの外装に「青」「黄」「オレンジ」「ランドマーク色」の部分がいないか。反射素材ではないか<br>※ランドマーク色:「明るい緑」「赤」「シアン」「マゼンタ」(公式ルール参照のこと) |        |     |
| 5  | ボール捕捉エリアの奥行きは適切か(ビギナーズ/ライトウェイト 3cm以内、オープン 2.5cm以内)   |        |     |
| 6  | 光がロボットの水平(横)方向に漏れていないか<br>※相手ロボットが光の影響を証明できた場合は光を漏れないようにする必要があります                            |        |     |
| 7  | 配線が他のロボットに絡まる可能性はないか   |        |     |
| 8  | ロボットに、人、相手ロボット、フィールドを傷つけるような危険な部分はないか  |        |     |
| 9  | 電源(電池)の電圧は適切か(ビギナーズ9V以下、ライトウェイト12V以下、オープン15V以下)  |        |     |
| 10 | 赤外線ボールに反応するか<br>※ボールとの位置関係によりタイヤの動きが変化することを確認します   |        |     |
| 11 | 電池は試合中動かないように固定されているか  |        |     |
| 12 | キッカーの有無<br>※ある場合、パワーチェックを受けてください   | ○で囲む → | 有・無 |
| 13 | 昇圧回路の有無<br>※電圧を上げる装置。キッカーにだけ許されています  | ○で囲む → | 有・無 |
| 14 | ロボット間の通信の有無<br>※Bluetoothクラス2又はクラス3、ZigBeeのみ使用できます   | ○で囲む → | 有・無 |
| 15 | ライトウェイト/オープンクラスのロボットはトップマーカが準備されているか   |        |     |
| 16 | ビギナーズクラスのロボットは、駆動モータは2個以下か   |        |     |

注) 1チームに2台以上のロボットがある場合はすべてのロボットについて車検を受けてください。ただし、1試合に出場できるロボットは2台までです。前半・後半でロボットを変えたり、故障時に3台目以降のロボットを出すことはできません。